

コロナ禍があぶり出した ジェンダー格差



新型コロナウイルスの感染拡大が始まってから3年目に入り、私たちの生活は大きな影響を受けた。日本では、以前から女性は男性に比べ非正規雇用が多く、育児や家事の負担も大きい。コロナ禍は女性により大きなマイナスの影響を与えている。とりわけ深刻な影響を受けているのは、シングルマザーである。彼女らは一人で働き、子育てをしなければならない。この現状をどう理解し、どう改善すべきか。皆さんと一緒に考えたい。

日時：令和4年6月28日（火）

10：00～12：00（9：30開場）

会場：かでの2・7 4階 大会議室

（札幌市中央区北2条西7丁目）

参加費：無料



講師

**北海学園大学経済学部教授
中囿 桐代氏**

講師プロフィール

教育学博士（北海道大学）、釧路公立大学を経て2012年より現職。社会保障論担当。専門分野はジェンダー論を基盤とした女性の就労支援に関する研究。『シングルマザーの貧困はなぜ解消されないのか - 「働いても貧困」の現実と支援の課題 -』を勁草書房より2021年に発刊。

【申込方法】

電話かEメール又は女性プラザ窓口で直接お申し込みください。

TEL：011-251-6329（9：00～17：00）（日曜・祝日は除く）

MAIL：info@l-north.jp（lは小文字のL）

メールの方は①講演会参加希望②お名前③電話番号を明記ください。

※感染症対策のため、中止や変更となる場合がございます。

【主催】

北海道立女性プラザ（指定管理者：公益財団法人北海道女性協会）



こちらからも
お申し込みできます